

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公表番号】特表 2006-518286 (P2006-518286A)

【公表日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2006-031

【出願番号】特願 2006-500201 (P2006-500201)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

G 0 3 G 15/01 J

G 0 3 G 15/01 1 1 3 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

4 色以上の着色材料の組合せ物であって、

それぞれは異なる色であり、

該 4 色のうち 3 色以上を；

1．バイオレット - レッド；

2．オレンジ - レッド；

3．バイオレット - ブルー；

4．グリーン - ブルー；

5．グリーン - イエロー；及び

6．オレンジ - イエロー、から選択するものを含み、

該組合せ物は、シアン、マゼンタ、イエロー及びブラックの組合せ物以外であることを条件とする、カラー印刷システム。

【請求項 2】

6 色の着色材料の組合せ物であって、

それぞれが異なる色であり、

該 6 色のうち 5 色以上を；

(1) オレンジ - レッド；

(2) バイオレット - レッド；

(3) バイオレット - ブルー；

(4) グリーン - ブルー；

(5) グリーン - イエロー；及び

(6) オレンジ - イエロー、

から選択するものを含む、カラー印刷システム。

【請求項 3】

(1) ~ (6) の該色の 6 色全ての着色材料を含む、請求項 2 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 4】

該 6 色のうち 5 色の着色材料を含み、そして当該第 6 番目の着色材料がブラック又はホワイトである、請求項 2 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 5】

該第 6 番目の着色材料がブラックである、請求項 4 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 6】

該 6 色のうち 5 色の着色材料を含み、該着色材料のうち 1 種が色(3)であり、かつ該第 6 番目の着色材料が暗いオレンジである、請求項 2 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 7】

それぞれの該着色材料が、インク、染料、トナー又は顔料である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のカラー印刷システム。

【請求項 8】

それぞれの該着色材料が、着色印刷インクである、請求項 6 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 9】

該着色印刷インクがオフセット印刷インクである、請求項 8 に記載のカラー印刷システム。

【請求項 10】

それぞれの部分が異なる色の着色材料を含む 6 部分の容器であって、該色が、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に規定される 6 部分の容器。

【請求項 11】

モジュール式である、請求項 10 に記載の 6 部分の容器。

【請求項 12】

カラー印刷物の作成法であって、

該方法が、基材上に所望のデザイン及び色を作成するような混合物及び様式で、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のカラー印刷システムの着色材料を、該基材上に印刷することを含む、

該カラー印刷物の作成法。

【請求項 13】

該カラー印刷システムが、請求項 2 ~ 6 のいずれか一項に記載の 6 色システムである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

4 種の異なるインク類の組合せ物を用いる印刷物の作成法であって、

該方法が、印刷される書類をスキャンすること、上記(1) ~ (6)として列挙される該色並びにブラック又はホワイトの中から、4 色の当該作業を実施するために最適な選択をすること、そして一般的な 2 色又は 4 色の印刷機内で、これら 4 色を用いることを含む

該印刷物の作成法。

【請求項 15】

デジタル印刷プロセス、オフセット印刷プロセス、スクリーン印刷プロセス又はカラーコピープロセスを含む、請求項 12 ~ 14 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 16】

予備段階において、イメージを電子的にスキャンし、そしてプリンターを、該カラー印刷システムを用いて該イメージを再現するようにプログラムする、請求項 12 ~ 15 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 17】

請求項 1 4 に記載の方法に用いるために選択された着色材料の組合せ物であって、
該組合せ物が、上記請求項 1 に記載の上記 (1) ~ (6) として列挙される該色を 3 色以上 (好適には 4 色) 含み、
該組合せ物が、シアン、マゼンタ、イエロー及びブラックの組合せ物以外である、
該着色材料の組合せ物。

【請求項 1 8】

上記 (1) ~ (6) として列挙される該色のうち 3 色以上と、ホワイト又はブラックとを含む、請求項 1 7 に記載の組合せ物。

【請求項 1 9】

上記 (1) ~ (6) として列挙される該色の 4 色の選択物を含む、請求項 1 7 に記載の組合せ物。

【請求項 2 0】

所望の色を作成するために、該プリンターを、個々の着色材料を混合するようにプログラムし、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のカラー印刷システム又は請求項 1 7 ~ 1 9 のいずれか一項に記載の組合せ物を組込む印刷装置。

【請求項 2 1】

デジタルプリンター、及びオフセット印刷機又はカラーコピー機である、請求項 2 0 に記載のプリンター。

【請求項 2 2】

カラープリンター用のプリンターカートリッジであって、
該カートリッジは 6 種のインクの区画を含み、それぞれの区画は異なる色の着色材料を含み、該着色材料は、請求項 2 ~ 9 のいずれか一項に記載のカラー印刷システムを含む、該プリンターカートリッジ。

【請求項 2 3】

一組の 6 枚のオフセット印刷版であって、
それぞれの版はそれらの上に異なるカラー印刷インクを有し、該色は請求項 2 ~ 6 のいずれか一項に規定される色から選択される、
該オフセット印刷版。

【請求項 2 4】

シングルパスで 7 色を供給することができるプリンター。

【請求項 2 5】

請求項 2 に記載のカラーリングシステム、及びさらにブラック着色材料を、該プリンター内に搭載している、請求項 2 4 に記載のプリンター。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

このように、さらなる態様では、本発明は、カラープリントを作成する方法を提供し、該方法には、基材上に所望のデザイン及び色を作成するような混合物及び様式で、上記カラー印刷システムの着色材料を、基材上に印刷することが含まれる。好適な基材類には、印刷業界で一般的な、紙、キャンパス等の布帛、プラスチック類、木材、金属等が含まれる。

一般的に、これらの基材類は、紙又は布帛を含むことができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 7 】

3 . バイオレット - ブルー

バイオレット - ブルーは、ブルーを反射し、次いでバイオレット、次いでグリーンを反射するので、鮮やかなバイオレット類及びくすんだグリーン類を作成するのに有用である。本発明中で用いるのに典型的なバイオレット - ブルーの着色材料は、P i g m e n t B l u e 2 9 (ウルトラマリーナブルー)並びにP B 1 C I N 4 2 5 9 5 : 2であり、それらは透明で、非常に濃く (i n t e n s e)、そして高いバイオレット含量を有する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 4 】

本発明の印刷システムを用いて、一般的な「4色プロセス印刷」から得られる可能性のある色彩の全てが、達成できる。しかし、さらに多くの改良点も見込まれる。特に、より鮮やかで「よりクリーン」な広範囲のオレンジ類、並びにより鮮やかで「よりクリーン」な広範囲のバイオレット類(種々のピンク類、ラベンダー類及びパープル類を含む)、より鮮やかで「よりクリーン」な広範囲のグリーン類及び「着色された広範囲のグレー類」を得ることができる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 2 】

オレンジの方に傾いたイエローを用いる場合、グリーン類は、低強度(くすみ、かつグレー化)より鮮やかになることができない。というのは、当該イエローは、減法混色の後、非常に少量のグリーンを後に残すことしかできないからである。

これらの要因に加えて、鮮やかなグリーンの作成に取りかかる場合、シアンは、理想的なグリーンブルーではない。シアンは、妥当な鮮やかさのバイオレット類及びグリーン類を与えるために選択される、より一層の妥協案である。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 9 】

アプローチされたそれぞれのカラーペアは、強度が等しいので、得られる色合いは、より暗くなりうる。

広範囲の着色グレー類を、補色カラー群の有効な混合により、自動的に得ることができる。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 9 】

しかし、ブラックが、カラーアートワークの再現に必要な場合がある。さらに、本発明のシステムを、カラーアートワークに適応させるように、たやすく変更することができる

。上述のように、「柔らか」なブラック類は、本システム内に存在する補色カラー群の範囲を用いて利用することができる。特に濃厚な（dense）ブラックが、広い範囲に渡って要求される場合、6色のうち1色（必要性が低い色）を、暗い中間調のオレンジ（Pigment Brown 7, Burnt Sienna等）に置き換えることができる。図3で具体的に説明するように、暗い中間調のオレンジは、適当に偏っており、バイオレット - ブルーと混合すると、濃厚な「深みのある（velvety）」ブラックを生成させる。